正答表 国語

1	2
2	2
3	2
4	2
5	2

1

(1)	かそせい
(2)	いんぺい
(3)	しゃめん
(4)	あいとう
(5)	いろう

1	2
2	2
3	2
4	2
5	2

2

(1) カ（う）	交う
(2) イキョク	委曲
(3) ソジュツ	祖述
(4) ユウシュウ	有終
(5) イッチハンカイ	一知半解

3

〔問1〕	エ
〔問2〕	ウ
〔問3〕	エ
〔問4〕	器の真の価値を定める最後の判断
〔問5〕	安知から雲山肩衡につい て相談されたとき、そ の美しさを自分で評価 せず、世間の評判に従 って判断をしたことに 気づいたから。
〔問6〕	ア

（正答例　五九字）

3	4	1	4
4	4	2	4
5	8	3	4
6	4	4	4

4

〔問1〕	ウ
〔問2〕	事物の一面にのみ注目して形成される安直な価値認識でもののごとを判断する
〔問3〕	これまで通用していた価値判断が、多くの経験にこれまで基づく新たな研ぎ澄まされた価値認識でもって変更されるようになること。
〔問4〕	イ

（正答例　六八字）

4	4	1	4
4	8	2	4
4	8	3	4
4	4	4	4

5

〔問1〕	イ
〔問2〕	かりね
〔問3〕	エ
〔問4〕	ウ
〔問5〕	エ

5	1	4	
	2	4	

4

〔問5〕

私は吹奏楽部でクラリネットの担当だった。先輩からの伝統を受け継ぎ、大会で入賞すべきだと考え、厳しい練習を続けた。しかし一方で、楽しく演奏したいという情動が抑えられず葛藤していた。そこで、演奏本来の楽しさを大切にしながらも、懸命な努力を重ねた結果、満足のいく演奏ができ、大会で上位入賞を果たした。

この経験により、価値判断と情動の葛藤や対立が物事を深く考えるきっかけになることを認識した。両者は連動しており、真剣に向き合うことで自分の行動が変化し、周囲にも影響を及ぼすことがあるのだと考える。

（正答例　二四七字）

250　200　100